



2024年12月25日

製菓製パン工場グループ 従業員 日高有彩が写真撮影種目にて 第44回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）の金賞受賞

【開催日】2024年11月22日(金)～24日(日)

SHIROYAMA HOTEL kagoshima(城山観光株式会社/所在地:鹿児島市/代表取締役社長:矢野隆一)製菓製パン工場グループの従業員・日高有彩が、2024年11月22日(金)～24日(日)愛知県で開催された第44回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）の写真撮影種目にて金賞を受賞しました。



メダルを手に微笑む日高

第44回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）は、全25種目の技能競技に47都道府県から398名の選手が参加しました。日高は今回が全国大会初出場。日頃はホテルの製菓製パン工場グループで商品の包装業務に就いており、写真は趣味として楽しみ極めております。写真を撮り始めたのは、約1年半前、国立・県営鹿児島障害者職業能力開発校で授業中にカメラを使い楽しさを知ったことがきっかけでした。2024年7月のアビリンピックかごしま大会で金賞受賞以降は、プロのカメラマンの指導を受け、構図やピントなどの技術に磨きをかけ、全国大会の写真撮影種目に挑みました。

成績発表は11月24日の閉会式に行われ、85名（うち金賞16名、銀賞33名、銅賞36名）が入賞の誉れを得、日高も見事金賞に輝きました。今後は2027年開催の第11回アビリンピック国際大会に選出されるよう、精進してまいります。

当ホテルでは多様性の一環として障害者雇用にも積極的に取り組み、客室清掃やベッドメイク、商品梱包、タオル等備品管理などで障害のある方たちが活躍しています。今後も障害のある従業員を含め、全従業員が働きやすい環境の整備に努めてまいります。

■日高のコメント

大会の課題はポートレート・建築物などを3時間以内に撮り続けるというもので、ポートレートを撮るときは全身を写し、建築物は下や横から撮ってみるなど、どこで何をしているのか、全体像はどうなっているのかを表すように心がけました。全国大会を終えて、金賞を取れたことに胸が熱くなりとても嬉しかったです。家族をはじめ、訓練校の先生方、応援して下さった会社の方々、たくさんの方に助言をいただき、結果を出すことができました。私の写真への可能性を引き出して下さった方々に感謝いたします。次の目標はアビリンピック国際大会へ出場すること。今以上に研鑽を積み、来年の選考会へ向けて頑張りたいと思います。

■アビリンピックとは

アビリンピックは、障害のある方々が日頃職場などで培った技能を競う大会。障害のある方々の職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障害のある方々に対する理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的として開催される。地方大会、全国大会、ほぼ4年ごとに開催する国際大会があり、地方は全国の、全国は国際大会の登竜門。国際大会への派遣選手は第41回以降の金賞受賞者から選出予定。

【報道関係者様からの本リリースに関するお問い合わせ】

SHIROYAMA HOTEL kagoshima <https://www.shiroyama-g.co.jp/>

〒890-8586 鹿児島市新照院町41-1 TEL:099-224-2212 FAX:099-224-6686

マーケティング部・企画広報部 牧/岡田 E-mail: maki@shiroyama-g.co.jp, okada@shiroyama-g.co.jp